

高齢者への暴力防止

●プロジェクト助成

<http://www.asahi-welfare.or.jp/>

地域で、家庭で、施設で、
高齢者が大切に扱われる社会。
自尊心が守られ、穏やかな毎日を過ごす社会—
それは誰もが心豊かに
安心して生きていける社会です。

高齢者への暴力、
虐待のかたちはさまざまです。
孤立させたり、孤独な毎日を送っている方に
気づかぬ振りをするのも社会的虐待なのです。

虐待を未然に防ぐきっかけは、
あなたの身近にあるかもしれません。
高齢者を暴力、虐待から守るための、
あらゆる活動を応援します。

心豊かに
安心して
暮らすために

締め切り

2013年1月17日(木)必着

助成金額

総額 1,000万円

主催●朝日新聞厚生文化事業団

後援●厚生労働省 テレビ朝日福祉文化事業団

高齢者への 暴力防止 プロジェクト助成

心豊かに 安心して 暮らすために

助成対象

- 2013年5月から2014年4月までに行われる事業を対象とします。
- 高齢者への暴力、虐待の防止、予防、ケア、教育、啓発に携わる団体、グループの新たな事業(プロジェクト)
- 地域で活動する高齢者サークル、自治会、町内会、高齢者支援グループ、団体などが行う虐待防止につながる間接的な取り組み事業(プロジェクト)
- 営利を目的としない民間団体・グループであること。
- 法人格の有無は問いません。

助成内容

- 高齢者への暴力防止事業のための資金で、事業の意図や内容、計画に実現性があり、以下のような条件にあてはまるもの
 - ◆新しく試みる先進的、独創的な事業(プロジェクト)
 - ◆地域における貢献と広がり期待できる事業(プロジェクト)
 - ◆暴力や虐待を受けた高齢者を直接守る活動
 - ◆暴力や虐待防止につながる取り組み
- 例)・暴力や虐待防止のためのスタッフ養成・研修プログラム
- ・子どもや一般市民に対する啓発イベントや講演会・研修会
 - ・地域の見守り活動
 - ・啓発や養成・研修のためのガイドライン・テキスト・ガイドブックなどの制作
 - ・「虐待」を受けやすい環境を防ぐための、認知症高齢者や家族へのサポート活動
 - ・高齢者を社会的虐待から守るための市民のネットワーク作り

助成金額

- 総額1,000万円

募集期間

- 2012年11月17日～2013年1月17日(必着)

応募方法

- 応募書類をホームページからダウンロードするか、朝日新聞厚生文化事業団にEメール、電話、FAXなどで直接請求してください。応募書類の提出は郵送(宅配便含む)とし、直接持参、Eメール、FAXでの受け付けはしません。

選考方法と結果発表・贈呈式

- 選考は専門家を交えた選考委員会を朝日新聞厚生文化事業団内に設けて行います。
- 必要に応じ、資料請求や現地調査を行います。
- 選考結果は2013年4月中に文書でご連絡します。
- 結果の発表、贈呈式を2013年5月に予定しています。
- 助成が決定した団体・グループの名称、代表者氏名、プロジェクト名・概要などは、朝日新聞紙上、朝日新聞厚生文化事業団ホームページなどで公表します。
- 助成を受けた団体には完了報告書を提出していただきます。

申し込み・問い合わせ

朝日新聞厚生文化事業団

「高齢者への暴力防止プロジェクト助成」受付事務局
〒530-8211 大阪市北区中之島3-2-4
TEL:06-6201-8008 / FAX:06-6231-3004
E-mail:kourei@asahi-welfare.or.jp

受付 番号	
受付日	

団体・グループ名	フリガナ	
所在地	〒	
	TEL ()	Email
	FAX ()	URL
代表者名		貴団体での役職
連絡担当者名	フリガナ	
		貴団体での役職
	TEL ()	Email
	FAX ()	
住所 〒		

【応募プロジェクト・事業についてお書きください】

助成申込金額	円(1万円未満切り捨て)
プロジェクト・事業名	
プロジェクト・事業の概要を、簡潔に記入してください(150字程度)。	

WORD で直接入力する場合は、A4 サイズ1枚に収まるようにご記入ください

下記それぞれの項目についてお書きください

プロジェクト・事業の詳細		
目的		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ 	
地域・対象者		
スケジュール		
期待される成果		
役割分担	氏名	このプロジェクト・事業での担当・役割
協力団体・機関		

WORD で直接入力する場合は、A4 サイズ1枚に収まるようにご記入ください

収支計画書について(以下の点に留意してお書きください)

■収入内訳(千円未満切り捨て)

費目	金額	積算根拠(名称、単価、個数)
①本助成金 ②自己資金		
収入合計		

■支出内訳(千円未満切り捨て)

費目	金額	積算根拠(名称、単価、個数)
支出合計		

■収入内訳

①本助成金と②自己資金に分けてご記入ください。また、自己資金は会費収入、寄付金収入、自主事業収入、受託事業収入、その他(前記項目に当てはまらない項目)のいずれかを明記してください。

■支出内訳

下記の【費目例】を参考に、記入してください。

経費の計上については、費目ごとに、使途、積算根拠(名称、単価、個数)が分かるように計上してください。費目、使途は以下を参照してください。

【費目例】

費目	使途
諸謝礼	講師や外部協力者に対する謝金など
旅費交通費	出張に伴う交通費、宿泊費など
研修費	研修のための参加費用など
使用料及び賃借料	講演会開催のための会場使用料など
通信運搬費	電話代、郵送および宅配便料金など
資料費	図書・文献購入費など
印刷費	資料などのコピー代、チラシの作成費など
設備費	建物の修繕費や設備費など
機器購入費	コピー機、ファクス、パソコン及び周辺機器など
保険料	活動中のボランティア保険など
人件費	今回の応募プロジェクト・事業のためのアルバイト代など
事務局諸経費	事業に関わる家賃、光熱水費など
その他	上記の項目に該当しない必要経費

WORDで直接入力する場合は、A4サイズ1枚に収まるようにご記入ください

【団体・グループの概要についてお書きください】

結成・設立 (活動開始)	年 月			
法人格の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 法人格の種類		法人格取得年月 年 月	
団体のスタッフ数	・常勤 人(内、有給 人)	・非常勤 人(内、有給 人)	・ボランティア 人	
団体・グループの日常の具体的な活動内容をお書きください。				
貴団体の今年度予算 (千円未満切り捨て)	収 入		支 出	
	合 計		合 計	
これまでに受けている助成金など	団体名	年 月	助成金額	助成内容
貴団体の活動を支援する団体・個人	氏 名	団体名・役職	電 話	所在地(市区町村)

この助成金はどのようにして知りましたか。○をつけてください。

- ①朝日新聞 ②当事業団ホームページ ③ダイレクトメール ④支援センター ⑤社会福祉協議会
⑥行政関係の広報 ⑦新聞以外の雑誌など ⑧その他 ()

WORD で直接入力する場合は、A4 サイズ1枚に収まるようにご記入ください